

キーワード

「ポータブル電源 おすすめ キャンプ」

ユーザーの検索意図

- キャンプに適したポータブル電源を探している
- 自分の使用用途(照明・スマホ充電・炊飯器など)に合った機種を知りたい
- コスパの良いモデルや人気商品を比較検討したい

メインのターゲット読者像

【キャンプ初心者～中級者の30～40代ファミリー層】

- 小さな子どもがいる家庭。電気毛布や電子レンジなど、電源が必要なシーンが多い
- 車中泊キャンプやオートキャンプを楽しむが、ポータブル電源はまだ持っていない、もしくは買い替えを検討中
- 安全性や持ち運びやすさも重視

# 【2025年最新版】キャンプに最適なポータブル電源おすすめ5選！家族で安心して使えるモデルを紹介

「キャンプで電気毛布や炊飯器が使えたら、もっと快適に過ごせるのに…」  
そんなふうに思ったこと、ありませんか？

特に小さなお子さんがあるファミリーキャンプでは、「寒さ対策」や「スマホの充電」、「ちょっとした調理」など、電源が必要な場面は意外と多いものです。

でも、ポータブル電源って種類が多すぎて、どれを選べばいいのか正直わかりづらいですね。

この記事では、キャンプ初心者～中級者のファミリー層向けに、安心して使えるおすすめポータブル電源3モデルを厳選してご紹介します！

あわせて、選び方のポイントや必要な容量、後悔しないための注意点まで詳しく解説しているので、きっと「これだ！」と思える1台が見つかるはずです。

「買ってから後悔したくない」「家族で快適にキャンプを楽しみたい」という方は、ぜひ参考にしてみてくださいね！

---

## ## ポータブル電源おすすめキャンプ向け厳選3モデル

キャンプに持っていくポータブル電源って、正直たくさんありすぎて迷ってしまいますよね。  
今回はファミリーキャンプや車中泊にぴったりな、おすすめのモデルを3つ厳選して紹介します。  
重視するポイント別に紹介していくので、「うちにはどれが合うんだろう？」と考えながら読んでもらえると嬉しいです。

それでは、まずは容量がしっかりあるファミリー向けモデルから見ていきましょう！

---

### ### 1-1 大容量で安心！ファミリー向け

ファミリーキャンプでは「一晩中電気毛布を使いたい」「朝は炊飯器でごはんを炊きたい」「スマホも家族分充電したい」など、必要な電力がかなり多くなります。

そんなときは、**1,000Wh**以上の大容量モデルを選ぶのが安心です。

※Wh(ワットアワー)とは？

Wh = 電力(W) × 時間(h)

100Whのバッテリーなら、「100Wの家電を1時間」または「50Wの家電を2時間」使えるということになります。

「EcoFlow DELTA 2」や「Jackery ポータブル電源 1000 New」などは、出力も高く、複数機器を同時に使っても安定して動作してくれる頼れるモデルです。

急速充電にも対応していて、自宅での準備もスムーズに進みます。

もちろん安全性も高く、PSEマーク取得済み。小さなお子さんがある家庭でも安心です。

ちょっと価格は高めですが、ファミリー全体で快適に過ごすなら、やはりこのクラスがベストです。

**EcoFlow DELTA 2 と Jackery ポータブル電源 1000 比較**

項目	EcoFlow DELTA2	Jackery ポータブル電源 1000 New
バッテリー容量	1,024Wh	1,070Wh
AC定格出力	1,500W	1,500W
出力ポート数	15(AC6口含む)	8(AC3口含む)
充電時間	約80分	最短60分
ソーラーパネル対応	○	○
大きさ	約400 × 211 × 281mm	約327 × 224 × 247mm
重量	約12kg	約10.8kg
公式販売価格	¥ 143,000(税込)	¥ 139,800(税込)

### 1-2 軽量コンパクトタイプ

「そこまで大容量は必要ないけど、短時間だけ小型家電も動かしたい」という方には、軽量コンパクトタイプがおすすめです。

容量で言えば**300Wh**前後が目安。女性でも片手で持てる軽さが魅力です。

おすすめは「PowerArQ mini 2」や「BLUETTI EB3A」。

どちらもサイズがコンパクトで、バックパックや車の隙間にもスッと収まります。

重さが4～5kg程度なので、設営や移動の負担も少なくて済みます。

出力はやや控えめですが、スマホ、ノートPC、電気毛布あたりは余裕でカバーできますよ。

「とりあえず持っておきたい」初心者にも安心の一台です！

**PowerArQ mini 2 と BLUETTI EB3A 比較**

項目	PowerArQ mini 2	BLUETTI EB3A
----	-----------------	--------------

バッテリー容量	307Wh	268.8Wh
AC定格出力	300W	600W
出力ポート数	7(AC2口含む)	9(AC2口含む)
充電時間	4～5時間	1時間弱
ソーラーパネル対応	○	○
大きさ	約250 x 175 x 177mm	約255 x 180 x 183mm
重量	約4.7kg	約4.6kg
公式販売価格	¥ 44,000	¥39,800

### ### 1-3 コスパ重視モデル

「できるだけ安く、でも最低限使えるモデルが欲しい！」というニーズには、コスパ重視モデルがぴったり。

容量は**200Wh**台、価格帯も3万円以下くらいから選べます。

注目は「**Anker 521 Portable Power Station**」や「**Anker Solix C300 DC Portable Power Station**」。

どちらも2万円台で購入できるのに、スマホ・カメラ・ノートPCの充電あたりにしっかり対応してくれます。

実際に使ってみると、思った以上にパワフルで、「この価格でここまで使えるの!？」と驚くはずで

す。  
コスパで選ぶなら、この辺を第一候補にしてみてくださいね！

### **Anker 521 Portable Power Station とAnker Solix C300 DC Portable Power Station 比較**

項目	Anker 521 Portable Power Station	Anker Solix C300 DC Portable Power Station
バッテリー容量	256Wh	288Wh
AC定格出力	300W	300W
出力ポート数	6(AC2口含む)	9(AC出力ポートなし)
充電時間	約2.5時間	約1.5時間
ソーラーパネル対応	○	○
大きさ	約216 x 144 x 211mm	約124 x 120 x 200mm
重量	約3.7kg	約2.8kg

公式販売価格	¥29,900	¥24,900
--------	---------	---------

## ## キャンプに必要なポータブル電源の選び方5ポイント

「ポータブル電源って、どれも似てるようで、違いがよくわからない...」  
そんな悩みを持つ方、けっこう多いんですね。

ここでは、キャンプで後悔しないための選び方を5つのポイントに絞って解説していきます！  
「これを知ってから買えばよかった...」なんて失敗を防ぐためにも、ぜひ参考にしてみてくださいね。

### ### 2-1 使用目的を明確にする

まず一番大切なのが、「何に使うか」を明確にすることです。

例えばスマホの充電だけなら、100～200Whの小型モデルでも十分。  
でも、電気毛布や炊飯器、扇風機など、複数の家電を使いたいなら、600Wh以上の中型～大型モデルが必要になります。

「とりあえず大きめのやつを買えば安心」という考え方もアリですが、持ち運びの重さや価格も変わってくるので、使う目的をはっきりさせるのが先です。

実際、キャンプ場で「使う予定の家電が動かせなくて計画が台無し...」なんて声もよく聞きます。  
何をどれくらい使いたいのか、書き出してみるのがいいですよ！

### ### 2-2 容量と出力をチェック

次に見るべきは「バッテリー容量(Wh)」と「出力(W)」の数値です。

※Wh(ワットアワー)＝どれくらいの時間使えるか

※W(ワット)＝どれくらいのパワーを出せるか

この2つがしっかりしていないと、家電が動かない・すぐ電池切れ...なんてことになります。

例えば電気毛布は50W前後、炊飯器は600W程度の出力が必要です。  
スマホ充電は5～10W程度なので、基本的には心配いりません。

最低でも500Wh、欲を言えば**1000Wh**前後あれば安心して1泊2日を過ごせますよ。

数値だけ見てもピンとこないときは、「何時間くらい使いたいのか」から逆算して選ぶと分かりやすいですよ。

### ### 2-3 バッテリーの種類を知る

ポータブル電源にはいくつか種類がありますが、主に「リチウムイオン」と「リン酸鉄リチウム(LiFePO4)」の2タイプが主流です。

リチウムイオンバッテリーは軽くてコンパクト、でも寿命が短め(500回程度の充放電)。  
一方、リン酸鉄リチウムは重いけど寿命が長く(2000回以上)、安全性も高いのが特徴です。

最近では、各社でリン酸鉄タイプを採用したモデルが増えてきています。

ファミリーキャンプや長期的に使う予定があるなら、ちょっと重くても長寿命タイプを選ぶのがおすすめです。

---

### ### 2-4 サイズと重量も重要

忘れがちなのが「大きさ」と「重さ」です。  
大容量モデルは安心感がありますが、重くて持ち運びが大変になることも。

例えば1000Whクラスだと、**10kg**以上あることが多く、車からサイトまでの移動で苦勞します。  
逆に300Wh以下の軽量モデルは**3~4kg**程度なので、ママでも簡単に持ち運びできます。

「設営場所まで距離がある」「子どもを抱えながら移動したい」なんて場合は、軽さは超重要なポイント。

家で試して「これならいける！」と思っても、実際のキャンプ場では状況が違いますからね。  
なるべくリアルな使い勝手を想像しながら選ぶと、後悔するリスクをぐんと下げられます。

---

### ### 2-5 ポート数や対応機器を確認

最後に見ておきたいのが、出力ポートの種類と数です。

USB-A、USB-C、AC100V、DC出力など、キャンプで使いたい機器に合った出力があるかをチェックしましょう。

例えば「ACコンセントが1口だけ」だと、電気毛布と炊飯器を同時に使えません。  
「USBポートが少ない」とスマホ充電に困ることも。

低価格モデルの中には、AC出力ポートがない場合もあり、コンセントに挿すタイプの家電が使えないということもあります。

自分が使いたい家電やガジェットに合っているかを見て、無駄のない構成になるようにしましょう！

---

## ## ポータブル電源で使えるキャンプ家電4選と必要電力

「どんな家電がポータブル電源で使えるの？」って、よく聞かれる疑問のひとつです。

実際にキャンプで便利に使えるアイテムを4つピックアップして、それぞれにどのくらいの電力が必要かを具体的に紹介していきます。

「これを使うにはどの容量が必要なんだろう？」という目安になるので、購入前にぜひチェックしてくださいね！

---

### ### 3-1 スマホ充電ならどれでもOK

まずは一番身近なアイテム、スマートフォンの充電。

これはポータブル電源のどんなモデルでも対応しています。

消費電力は平均して**5W～10W**程度なので、200Whの超小型モデルでも何回も充電できます。USB-AかUSB-CのポートがあればOKで、最近はPD対応のUSB-Cがあれば高速充電も可能です。

ちなみに、iPhoneを1回フル充電するのに必要な電力量はおよそ10～15Whほど。300Whクラスの電源なら、単純計算で**20回**以上の充電が可能ということになります。

小さい子どもが動画を観たり、家族で写真を撮りまくったりすると、すぐバッテリーが減るんですよね。

スマホさえ充電できれば十分！という人は、小さなモデルでも十分対応できますよ。

---

### ### 3-2 電気毛布には200Wh以上

寒い季節のキャンプに欠かせないのが電気毛布。

でもここで注意したいのが「電気毛布って意外と電力を使う」という点です。

一般的な電気毛布の消費電力は**30W～50W**程度。

一晚(約8時間)使うとすると、**250Wh～400Wh**ほど必要になります。

つまり、電気毛布を1枚運用するだけでも、最低**200Wh**以上の容量がないと心配です。

家族全員分の電気毛布を動かすなら、やはり1000Whクラスのモデルが安心ですね。

低温モードで使ったり、こまめにオンオフすることで消費を抑える工夫も有効です。

真冬キャンプでは、電気毛布があるだけで寒さのストレスが全然違うので、欠かせないアイテムですよ！

---

### ### 3-3 炊飯器は出力600W以上が目安

キャンプでごはんを炊くとき、炊飯器を使いたいという人も多いですね。

ただ、ここはかなり電力が必要な家電なので注意が必要です。

一般的な小型炊飯器でも**600W～800W**の出力が必要で、調理にかかる時間は約30～40分。

つまり、合計で**300Wh～500Wh**前後を消費する計算になります。

ここで大事なのが、出力が**600W**以上出せるポータブル電源を選ぶこと。  
容量があっても、出力が足りなければ炊飯器は動きません。

「EcoFlow DELTA 2」や「Jackeryポータブル電源1000 New」のような高出力タイプなら安心して使えます。

屋外で子どもから目が離せない中、ゆっくりご飯を作るのは難しいですね。  
電気炊飯器が使えると、一気に炊飯の負担が軽くなるので、ぐんと便利になりますよ！

---

#### ### 3-4 電子レンジはハイパワータイプが必要

ポータブル電源で使えるかどうかギリギリのラインにいるのが電子レンジ。  
これはかなりハイパワーな家電で、消費電力は平均して**1000W～1200W**以上になります。

当然ながら、対応するポータブル電源も限られてきます。  
「Jackery 1500」や「EcoFlow DELTA Max」など、出力が**1500W**以上あるモデルが必要です。

また、短時間で大量の電力を消費するため、電源の放電効率や瞬間出力にも注意が必要。  
使えるかどうかは、実機でのテストや口コミを参考にするのがおすすめです。

とはいえ、温め程度なら短時間なので、容量が減ってもそこまで致命的ではありません。  
子どもの離乳食や冷凍ごはんの解凍に使いたいというパパママには、かなり便利な家電ですね！

---

#### ## ポータブル電源を選ぶ時の注意点4つ

「買ったはいいいけど、思ったより使いにくかった…」  
そんな後悔をしないために、実際の使用シーンを想定しながら選ぶことが大切です。

ここでは、ありがちな失敗と、それを防ぐための注意ポイントを4つ紹介していきます。  
特にキャンプ初心者や、初めてポータブル電源を買う方は必見ですよ！

---

#### ### 4-1 充電方法の違いを知る

意外と見落としがちなのが、ポータブル電源自体の充電方法です。

主な方法は「家庭用コンセント」「ソーラーパネル」「車のシガーソケット」の3つ。  
中でもソーラーパネルでの充電が可能かどうかは、キャンプの自由度に大きく関わってきます。

例えば連泊する場合や電源サイトがないキャンプ場では、ソーラー充電ができると安心。  
逆に対応していないモデルだと、途中でバッテリーが尽きてしまう可能性もあります。

また、充電スピードも機種によってまったく違います。  
「フル充電に8時間以上かかる」と、準備に時間が取れない家庭ではちょっと不便ですね。  
「どこで・どのくらいの頻度で使うか」まで想定して、充電方法も選びのポイントにしてくださいね！



---

#### ### 4-2 天気に左右されない選択

ソーラーパネルでの充電が便利とはいえ、天気に大きく左右されるのが難点です。

曇りや雨の日は発電量がガクンと落ちて、想定していた電力が確保できないこともあります。特に冬場は日照時間も短くなるので、余計に不安ですね。

いざソーラー充電ができない場合に備えて、ポータブル電源本体の容量には余裕を持っておくのが正解です。

また、ソーラー対応だけど、充電効率が悪いモデルもある点にも注意しましょう。パネルの出力や充電時間も、しっかりスペック表で確認しておくことをおすすめします。

「天気が悪くて充電できず…」という苦い経験を持つ人は、結構多いようですよ。

---

#### ### 4-3 安全性とPSEマークの重要性

最後に超重要なポイント、それが「安全性」です。  
ポータブル電源は、誤った使い方をすると火災や発熱のリスクがあります。

そこで注目したいのが「**PSE**マーク」。  
これは電気用品安全法に基づいた製品であることを示す、日本国内での安全基準マークです。

これが付いていないと、万が一のときの保証も不安ですし、家族で使うにはリスクが高くなります。  
最近は海外製の安価な製品も多く出回っていますが、**PSE**マークがない製品は避けるべきです。

加えて、「過電流保護」「過熱防止」「短絡防止」などの保護機能が搭載されているかもチェックポイントです。

特に子どもがいる家庭では、ちょっとした油断が事故につながることもあります。  
安全性を軽視せず、しっかりとスペックを確認してから選んでくださいね！

---

#### ### 4-4 ちょうど良い重量とサイズ感を選ぶ

ポータブル電源は「大容量・高出力が正義」と思われがちですが、持ち運びやすさや設置しやすさも忘れてはいけないポイントです。

例えば、1,000Whクラスになると重量は10kgを超えることが多く、女性やお子さんがいる家庭では、ちょっとした移動でも負担になりがちです。  
また、車のトランクやキャンプ道具との兼ね合いで、「意外と場所を取る…」と感じるケースもあります。

特にファミリーキャンプでは、テントや寝袋、調理器具など荷物が多くなりがち。その中で、電源が大きすぎるとスペースを圧迫し、結果として使い勝手が悪くなることもあるんです。

実際にキャンプに行くと、「設置場所に困った」「移動させるのが大変だった」という声はよく聞きます。

おすすめは、必要な容量を把握したうえで、「10kg未満」「手で持てるグリップ付き」など、物理的な扱いやすさもあわせて検討すること。

数値上は重量があっても、持ち運びしやすい形状や工夫があれば、負担は軽く感じる場合もありますよ！

可能であれば、実機を触って試す機会があるといいですね。

---

## ## まとめ

キャンプでの快適さをグッと引き上げてくれるのが、ポータブル電源です。

今回ご紹介したモデルは、どれもファミリーキャンプにぴったりの安心・安全なタイプばかり。目的や予算に合わせて、自分たちにちょうどいい1台を選んでみてください。

これからポータブル電源を導入する方も、買い替えを検討中の方も、この記事が少しでも参考になったら嬉しいです。

家族みんなが笑顔で過ごせる、そんなキャンプライフを応援しています！